

# なら 植防ニュース

## 日本植物防疫協会主催シンポジウム 「環境保全型農業の病虫害防除を考える」

奈良県植物防疫協会 福井俊男

平成25年1月15日に600名の参加者を集め、雪の積もる東京でシンポジウムが開催された。環境保全型農業の取り組みとして化学農薬を慣行の5割以下に削減した特別栽培農産物の生産指導が行われてきたが、病虫害防除指導の上でいろいろな問題が生じている。シンポジウムでは、国の取り組み、都道府県の米、茶、野菜、果樹の指導者から生産現場の実態と課題、JAの取り組みが報告された。

**環境保全型農業について** 農林水産省生産局農産部 農業環境対策課 橋本陽子

日本の温暖多雨条件下の農業では肥料農薬の単位面積当たり使用量は多い。地球温暖化対策と生物多様性保全への対応が急務な中、この事業を進めてきた。販売農家の49.8%がいずれかの環境保全型に取り組んでいる。水稲では集団で一定進んでいるが、野菜、果樹では取り組みが進んでいない。農薬出荷量と肥料需要量は減少している。農産物の価格に反映しにくいいため、自立が難しい。(作物別の投下量がどれだけ減ったかの統計がないので、客観的評価が出来ない。国民に成果を示す最終目標は何か。などの質問があった。)

(社) 奈良県植物防疫協会

〒 634-0813 橿原市四条町 8 8  
奈良県農業総合センター内  
TEL0744(22)8151  
FAX0744(22)8152(専用)

### 目次

◎シンポジウム「環境保全型農業の病虫害防除を考える」	.....	1
◎茶業技術研究発表会	.....	3
◎平成24年農薬展示圃試験成績検討会の概評	.....	4
◎登録失効になった農薬(農薬検査所の失効農薬情報より)	.....	5

### 特別栽培リンゴ等減農薬栽培における病虫害防除の課題

岩手県中央農業改良普及センター 小野浩司

JAいわて中央りんご部会 715ha で管内を2ブロックに分けて隔年で取り組んでいる。毎年続けると病虫害が増えて管理できない。東北農業研究センターのプロジェクトに参画して取り組んできた。地域統一防除体系を組み、生産者が防除員となって予察会議をに参加し薬剤の選択と散布時期の決定を行う。認証を受けて、特別栽培と表示して出荷している。温暖化で病気の発生リスクが高くなっている。樹幹害虫などマイナー害虫が増えている。

### 特別栽培米等減農薬栽培における病虫害防除の課題

長野県農業試験場環境部 山下 亨  
長野県の水稲品種はコシヒカリが 70%、

アキタコマチが 20%でしめ、平均収量は 623kg と高い。病虫害の発生は少なく、地域慣行基準は全国でも少なく、特別栽培では使用回数の上限が 6 回と厳しく、県全体の栽培面積の 4 %程度に過ぎない。特別栽培米の農薬使用回数は 5 ～ 6 回と上限ぎりぎり、収量は 520kg (県平均の 86%) と少ない。原因は有機質肥料の肥効調節が難しいことととも病対策のための少肥設計、雑草による減収などが考えられる。対策として、本田の追加防除や採種圃対策等が考えられるが解決しなければならない課題がある。

#### 特別栽培茶等減農薬栽培における病虫害防除の課題

静岡県農林技術研究センター 小澤朗人  
重要害虫のクワシロカイガラムシ防除では、1000 リットル/10a の大量散布、薬剤感受性低下、リサージェンスによるカンザワハダニの多発生などの問題が多い。交信攪乱剤と土着天敵に優しい薬剤使用と農薬散布回数の 50 %減、散布量の 70 %減で、クワシロカイガラを防除できることが現地実証された。一般農家では、選択性殺虫剤を中心とした防除体系になっているが、年間散布回数はいっこうに減らない。チャノコカクモンハマキの選択性殺虫剤抵抗性が問題になりつつある。

#### 土着天敵保護による露地ナスの減農薬栽培における病虫害防除の課題

奈良県病虫害防除所 井村岳男

露地ナス栽培は、農薬に頼りすぎる防除体系で一作 20 ～ 30 成分を散布し、シキイアザミマの薬剤感受性低下で被害が止められない状況になっている。土着天敵を活用する防除法を普及する上で、技術的問題は、①潜在害虫の顕在化。②天敵に影響が少ない選択性殺虫剤に依存すると抵抗性害虫が問題になる。③病害防除との整合性。である。農家の課題は、①防除回数を減らせな

いので選択性殺虫剤に切り替える ②天敵と農薬の最適な組み合わせを提示 ③土着天敵保護する防除歴を作り、マニュアル化が必要。減農薬栽培だけでは付加価値にならないので、消費者に分かりやすい、こだわり農産物を作ることが必要である。

#### 環境保全型農業における病虫害管理の課題

鹿児島県農政課食の安全推進課柿元一樹  
I PM技術を確立し、普及させ、県産農産物の付加価値をPRするために、平成 24 年から鹿児島県で「I PM技術普及推進事業」を始めた。「I PM研究会」を設立し、「I PMは病虫害関係者に偏った一方的な技術論」から脱却することになる。

60 品目を選び、順次 I PM技術実証試験を行っている。現在 25 品目について、農家、普及、研究、大学と共に実施している。I PMの普及には地域の指導者が必要で、「虫ねん隊」を結成して指導者を育成し、地域に派遣する。ナスの産地現場では土着天敵タバコカスミカメを普及する「かすみちゃんプロジェクト」が出来た。I PMを付加価値に結びつけられるように広報していく予定である。



茶業技術研究発表会報告

茶業振興センター 屋嘉比昌彦

2012年11月20日、静岡県で開催された茶業技術協会研究発表会に出席した。発表された中で、病虫害に関する主なものを紹介する。

#### 福岡県におけるチャトゲコナジラミの発生活消長とシルベストリコバチの薬剤感受性 中園健太郎ら（福岡農総試八女分場）

福岡県ではチャトゲコナジラミは年次により年間3世代または4世代発生することが明らかとなった。

チャトゲコナジラミの天敵シルベストリコバチに対する薬剤感受性を調査した。有機リン系、カーバメート系、ピレスロイド系、ネライストキシン系など殺虫スペクトルが広い殺虫剤の48時間後の補正死亡率は90～100%であった。ネオニコチノイド系殺虫剤の補正死亡率は40～70%程度と薬剤により殺虫効果に差が認められた。殺ダニ剤、IGR剤、殺菌剤は、補正死亡率が20%以下の薬剤が大半であり、殺虫効果は概ね低かった。

#### 静岡県の茶産地におけるチャノココクモンハマキの薬剤感受性の実態

内山徹ら（静岡農技研茶研セ）

静岡県の主要茶産地12か所から採取したチャノココクモンハマキ20個体群のうち、常用濃度で補正死亡率が90%を下回った個体群は、IGR剤のデブフェノジドで17群、メトキシフェノジドで9群、フルフェノクスロンで18群、ルフエヌロンで3群、ジアミド系剤のフルベンジアミドで8群、クロラントラニプロールで9群であった。ジアミド系のフルベンジアミドで販売開始から4年、クロラントラニ

プロールでは2年で抵抗性が顕在化した。

#### マシン油乳剤による赤焼病発生活消長を抑制できる銅水和剤の使用法

吉田克志ら（野茶研）

虫害防除のために冬期にマシン油散布を行う場合は、マシン油散布1週間前の銅剤散布により、赤焼病の発生活消長を抑制できることが確認された。マシン油・銅剤混合散布の場合、落葉等の顕著な薬害は認められないが、赤焼病防除効果は低下する。

#### Qo I 剤耐性チャ輪斑病菌発生ほ場におけるピリベンカルブ水和剤の防除効果 尾松直志ら（鹿児島農総セ茶業部）

輪斑病に対するピリベンカルブ水和剤の防除効果は、Qo I 剤耐性菌の発生していないほ場では既存剤のTPN水和剤やアゾキシストロビン水和剤と同等の高い防除効果を示した。一方、Qo I 剤耐性菌発生ほ場では、アゾキシストロビン水和剤は耐性菌率が高いほど防除効果が低下し、耐性菌率が2割程度の発生で全く効果を示さなくなった。ピリベンカルブ水和剤は耐性菌率が高い場合でも、低いながらも効果が認められた。

#### 奈良県におけるハンノキキクイムシの発生活消長 屋嘉比昌彦

ハンノキキクイムシの成虫はこれまで5～6月、7～8月の年間2回発生すると言われているが、本県での発生動向は不明である。そこで、マダラコール誘引トラップを設置し2011、2012年に成虫の発生活消長を調査した。

奈良県における発生活消長は年間1回で4月下旬に発生を開始し7月上旬に終息し、発生ピークは捕獲開始直後の4月下旬の1回と推測された。

# 平成24年度農薬展示圃試験成績検討会の概評

平成24年12月17日

評価 A: 薬剤の効果、薬害の面で普及上問題はない  
 B: 普及に当たって更に検討する必要がある  
 -: その他(判定できない場合)

番号	薬剤名	対象作物	対象病虫害雑草	圃場場所	担当地区	指導機関	評価
1	シャリオ箱粒剤	イネ	いもち病、紋枯病、イネミスヅウムシ、イネドコロイムシ	宇陀市室生	宇陀	東部農林	A
2	アピロトップMXLジャンボ	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ、他	奈良市五條町	奈良	北部農林	A
3	サンシャイン1キロ粒剤	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	葛城市當麻	北葛	中部農林	A
4	シリウスエグザ1キロ粒剤	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	天理市中山町	天理山辺	北部農林	A
5	シリウスエグザ1キロ粒剤	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	天理市柳本町	桜井しき	中部農林	A
6	シリウスエグザ1キロ粒剤	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	桜井市小夫	桜井しき	中部農林	A
7	ゼータワンジャンボ	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	広陵町百済	北葛	中部農林	A
8	ゼータワンジャンボ	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	田原本町西代	桜井しき	中部農林	A
9	ゼータワンジャンボ	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	宇陀市榛原澤	宇陀	東部農林	A
10	ハーディ1キロ粒剤	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	天理市兵庫町	天理山辺	北部農林	A
11	ハーディ1キロ粒剤	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	葛城市加守	北葛	中部農林	A
12	マイウェイジャンボ	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	奈良市西九条町	奈良	北部農林	A
13	マイウェイジャンボ	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	奈良市上深川町	奈良	北部農林	A
14	ヤイバジャンボ	イネ	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ他	田原本町八田	天理山辺	北部農林	A
15	ザクサ液剤	水田畦畔	一年生雑草 多年生雑草	葛城市南道穂	北葛	中部農林	A
16	プレバソン粒剤	キャベツ	コナガ、アオムシ	田原本町法貴寺	桜井しき	中部農林	A
17	プレバソン粒剤	白菜	コナガ	田原本町法貴寺	桜井しき	中部農林	A
18	キックオフ顆粒水和剤	白菜	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ	宇陀市大宇陀	宇陀	東部農林	A
19	ディアナWDG	梨	シンクイムシ類 ハマキムシ類	斑鳩町稲葉車瀬	郡山生駒	北部農林	A
20	ディアナSC	茶	チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ他	山添村大塩	天理山辺	北部農林	A
21	ザクサ液剤	茶	一年生雑草	奈良市月ヶ瀬	奈良	北部農林	A
22	ザクサ液剤	茶	一年生雑草	奈良市月ヶ瀬	奈良	北部農林	A
23	ザクサ液剤	茶	一年生雑草	奈良市月ヶ瀬	奈良	北部農林	A
24	ザクサ液剤	茶	一年生雑草	宇陀市室生	宇陀	東部農林	A
25	バンバン乳剤	小麦	畑地一年生雑草	桜井市大西	桜井しき	中部農林	A
26	バンバン乳剤	小麦	畑地一年生雑草	桜井市大西	桜井しき	中部農林	A

1. 県下で発生が問題になっているSU剤抵抗性雑草(コナギ、ホタルイ)に有効な除草剤の展示実証が行われた。
2. 1成分または2成分の除草剤が開発されており、特別栽培米への普及が期待される。
3. 殺虫剤では、チョウ目害虫に対してクラントラニプロール(プレバソン粒剤、キックオフ顆粒水和剤)とスフネラム(ディアナSC)で高い防除効果が見られた。

登録農薬失効情報(2012. 10. 1~12. 31)

農林水産消費安全技術センター農薬検査部の登録農薬失効情報より抜粋

登録番	農薬の種類	農薬の名称	申請者	失効日
<b>殺虫剤</b>				
2430	マラソン粉剤	ホクコーマラソン粉剤 3	北興化	10/10
4749	N A C水和剤	三共デナボン水和剤 5 0	ホクサン	11/29
10856	MPP乳剤	三共バイジット乳剤	ホクサン	11/29
12092	C Y A P水和剤	三共サイアノックス水和剤	ホクサン	11/29
12215	C Y A P乳剤	サンケイサイアノックス乳剤	琉球産	12/12
15236	M E P粉剤	ホクコースミチオン粉剤 2 D L	北興化	10/8
15237	M E P粉剤	ヤシマスマチオン粉剤 2 D L	協友アグ	10/8
17103	チオジカルブ粒剤	三明ラービンベイト 2	三明ケカ	10/25
17122	クロルフルアズロン乳剤	三共アタブロン乳剤	三井化	10/25
17272	エトフェンプロックス粉剤	三共トレボン粉剤 D L	ホクサン	11/29
18835	ダイアモルア剤	信越コナガコン	信越化	11/28
19599	マラソン乳剤	家庭園芸用日農マラソン乳剤	日本農	11/14
20478	スタイナーネマ グラセライ剤	パイオトピア	エステーエ	10/11
20482	シラフルオフェン・テブフェノジド水和剤	ホクコーミミックジョーカーフロアブル	北興化	11/10
20556	イミダクロプリドエアゾル	ブルースカイスプレー	ハイル	12/26
20569	D C I P・D-Dくん蒸剤	ブラズマ油剤	エステーエ	12/26
20867	クロルフェナピル・フルアクリピリム水和剤	クミアイオオナタフロアブル	クミアイ化	10/4
21828	アセフェート・チオジカルブ水和剤	ホクコーオルトランラービン水和剤	北興化	11/1
22538	クロチアニジン水溶剤	ダントツ F T 水溶剤	住友化	12/2
<b>殺虫殺菌剤</b>				
19766	P A P・フサライド・フルトラニル粉剤	日産モンカッターブサイドエルサン F 粉剤 D L	日産化学	11/10
19770	エトフェンプロックス・P A P・フサライド・フルトラニル粉剤	日産モンカッターブサイドイネメイト F 粉剤 D L	日産化学	11/10
20549	エトフェンプロックス・M E P・フェノキサニル粉剤	アチーブスミチオントレボン粉剤 D L	日本農薬	12/26
<b>殺菌剤</b>				
16889	トルクロホスメチル・ヒドロキシイソキサゾール粉	三共リゾレックス H 粉剤	ホクサン	11/29
17558	フルアジナム水和剤	三共フロンサイド水和剤	ホクサン	11/29
17561	フルアジナム粉剤	三共フロンサイド粉剤	ホクサン	11/29
17971	オキシリニック酸・カスガマイシン・フサライド粉	ホクコーカスラプスターナ粉剤	北興化	11/1
18019	トリシクラゾール・フェリムゾン水和剤	ノンプラス水和剤	協友アグ	12/16
18398	オキシテトラサイクリン・ストレプトマイシン・銅水和剤	三共バクテサイド水和剤	ホクサン	11/29
18822	イミノクタジナルベシル酸塩水和剤	三共ベルコート水和剤	三井化	11/21
18852	マンゼブ水和剤	クミアイペンコゼブ水和剤	クミアイ化	11/28
19739	フルジオキサニル・ペフラゾエート乳剤	ホクコーモミガード EW	北興化	10/21
19741	フルジオキサニル・ペフラゾエート乳剤	U B E モミガード EW	エステーエ	10/21
19778	シモキサニル・マンゼブ水和剤	三共カーゼート P Z 水和剤	三井化	11/17
19780	シモキサニル・マンゼブ水和剤	デュポンカーゼート P Z 水和剤	デュポン	11/17
20364	ジクロシメット粉剤	三共デラウス粉剤 D L	ホクサン	11/29
20367	ジクロシメット水和剤	三共デラウスフロアブル	ホクサン	11/29
20527	フェノキサニル粒剤	アチーブ粒剤 9	日本農	12/21
20547	フェノキサニル粒剤	アチーブ 1 キロ粒剤 2 4	日本農	12/26
21809	銅・バリダマイシン粉剤	S T バリダボルドー粉剤 D L	住友化	10/4
21976	イプロジオン水和剤	協友ロブラール水和剤	協友アグ	11/6
22349	マンゼブ水和剤	三共グリーンペンコゼブ水和剤	ホクサン	11/29
22512	ポリカーバメート・ミクロブタニル水和剤	リカバリー水和剤	ダウケミカル	11/18
<b>除草剤</b>				
14222	アトラジン水和剤	ゲザプリムフロアブル	シジエンタ	12/11
17928	プロジアミン水和剤	クサブロック	シジエンタ	10/8
19757	ピラゾスルフロロンエチル粒剤	アグリーン粒剤	日産化	11/4
19788	シメトリン・ベンフレセート・M C P B 粒剤	三共ザーベックス S M 1 キロ粒	三井化	12/5
19798	カフェンストロール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロロンメチル水和剤	デュポンジョイスターフロアブル	デュポン	12/12
19808	テニルクロール・ピリブチカルブ・ベンスルフロロンメチル水和剤	[ D I C ] キングダムフロアブル	日本曹達	12/12
19809	テニルクロール・ピリブチカルブ・ベンスルフロロンメチル水和剤	キングダムフロアブル	デュポン	12/12

登録番	農薬の種類	農薬の名称	申請者	失効日
19810	テニルクロール・ピリブチカルブ・ベンスルフロ ンメチル水和剤	トクヤマキングダムフロアブル	エステーエ ス	12/12
19812	テニルクロール・ピリブチカルブ・ベンスルフロ ンメチル水和剤	キングダムLフロアブル	デュポン	12/12
19814	イマゾスルフロ ン・ダイムロン・ピリブチカルブ・ メフェナセット水和剤	武田ロンゲットフロアブル	住友化 学	12/12
19818	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフ ロンメチル水和剤	ホクコーパピカフロアブル	北興化 学	12/12
19819	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフ ロンメチル水和剤	パピカフロアブル	デュポン	12/12
19820	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフ ロンメチル水和剤	トクヤマパピカフロアブル	エステーエ ス	12/12
19822	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフ ロンメチル水和剤	ホクコーパピカLフロアブル	北興化 学	12/12
19823	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフ ロンメチル水和剤	パピカLフロアブル	デュポン	12/12
19824	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフ ロンメチル水和剤	トクヤマパピカLフロアブル	エステーエ ス	12/12
19825	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフ ロンメチル水和剤	日農パピカLフロアブル	日本農 薬	12/12
19866	ピラゾスルフロ ンエチル・ペントキサゾン粒剤	科研スターボ1キロ粒剤	科研製	12/22
19867	ピラゾスルフロ ンエチル・ペントキサゾン粒剤	スターボ1キロ粒剤	日産化	12/22
20122	デスメディファム・フェンメディファム・メトラク ロール乳剤	三共ベタダイヤA乳剤	ホクサン	11/29
20477	トリネキサパックエチル液剤	プリモマックス液剤	シジエンタ	10/11
20490	オキサジクロメホン・ダイムロン・ピリミノバック メチル・ベンスルフロ ンメチル水和剤	デュポンサットフルLフロアブル	デュポン	12/4
20492	ピリミノバックメチル・プロモブチド・ベンスルフロ ンメチル・ペントキサゾン水和剤	デュポントップガンフロアブル	デュポン	12/4
20494	ピリミノバックメチル・プロモブチド・ベンスルフ ロンメチル・ペントキサゾン水和剤	デュポントップガンLフロアブル	デュポン	12/4
20495	アジムスルフロ ン・ピリミノバックメチル・プロモ ブチド・ベンスルフロ ンメチル・ペントキサゾン粒	トップガンA1キロ粒剤36	クミアイ化 学	12/4
20496	アジムスルフロ ン・ピリミノバックメチル・プロモ ブチド・ベンスルフロ ンメチル・ペントキサゾン粒	デュポントップガンA1キロ粒 剤36	デュポン	12/4
20497	ピリミノバックメチル・プロモブチド・ベンスルフ ロンメチル・ペントキサゾン粒剤	トップガン1キロ粒剤51	クミアイ化 学	12/4
20498	ピリミノバックメチル・プロモブチド・ベンスルフ ロンメチル・ペントキサゾン粒剤	デュポントップガン1キロ粒剤 51	デュポン	12/4
20523	フェントラザミド・ベンスルフロ ンメチル粒剤	クミアイノーバ1キロ粒剤75	クミアイ化	12/21
20539	フェントラザミド・ベンスルフロ ンメチル水和剤	クミアイノーバフロアブル	クミアイ化	12/26
20543	ダイムロン・フェントラザミド・ベンスルフロ ンメ チル水和剤	クミアイノーバLフロアブル	クミアイ化 学	12/26
21106	ベンゾビシクロ ン・ペントキサゾン粒剤	ホクコーフォーカスショットジャンボ	北興化	10/22
21149	オキサジクロメホン・ベンスルフロ ンメチル水和剤	ホクコーホームランフロアブル	北興化	12/17
21150	オキサジクロメホン・ベンスルフロ ンメチル水和剤	ホームランフロアブル	デュポン	12/17
21152	オキサジクロメホン・クロメプロップ・ピリミノ バックメチル・ベンスルフロ ンメチル剤	デュポン パットフルエース ジャンボ	デュポン	12/17
21154	オキサジクロメホン・クロメプロップ・ピリミノ バックメチル・ベンスルフロ ンメチル剤	デュポン パットフルエースL ジャンボ	デュポン	12/17
21157	ピリミノバックメチル・プロモブチド・ベンスルフ ロンメチル・ペントキサゾン剤	デュポン トップガン250グ ラム	デュポン	12/17
21169	ピリミノバックメチル・プロモブチド・ベンスルフ ロンメチル・ペントキサゾン剤	デュポン トップガンL250 グラム	デュポン	12/24
21172	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロ ンメチル粒剤	三共クサトリーDXジャンボH	三井化 学アグロ	12/24
21174	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロ ンメチル粒剤	三共クサトリーDXジャンボL	三井化 学アグロ	12/24
21797	カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロ ンメチル・ベンゾビシクロ ン粒剤	三共シロノックHジャンボ	三井化 学アグロ	10/4
21827	DBN粒剤	草取り上手	グリーンカネ	11/1
<b>その他</b>				
6604	タリウム粒剤	メリーネコ6号	大丸合	12/14